



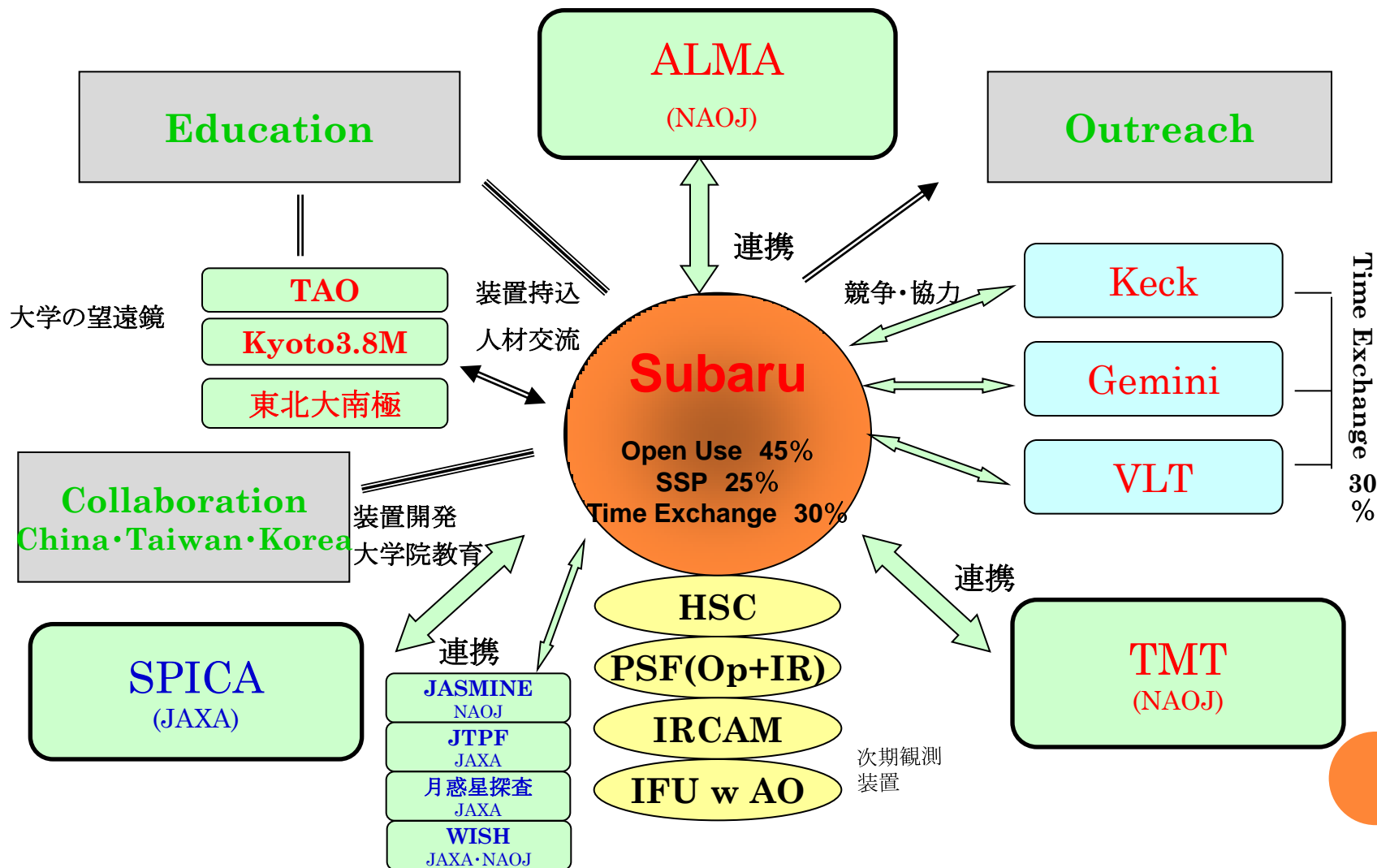
# **SAC REPORT**

**Nobuo ARIMOTO**

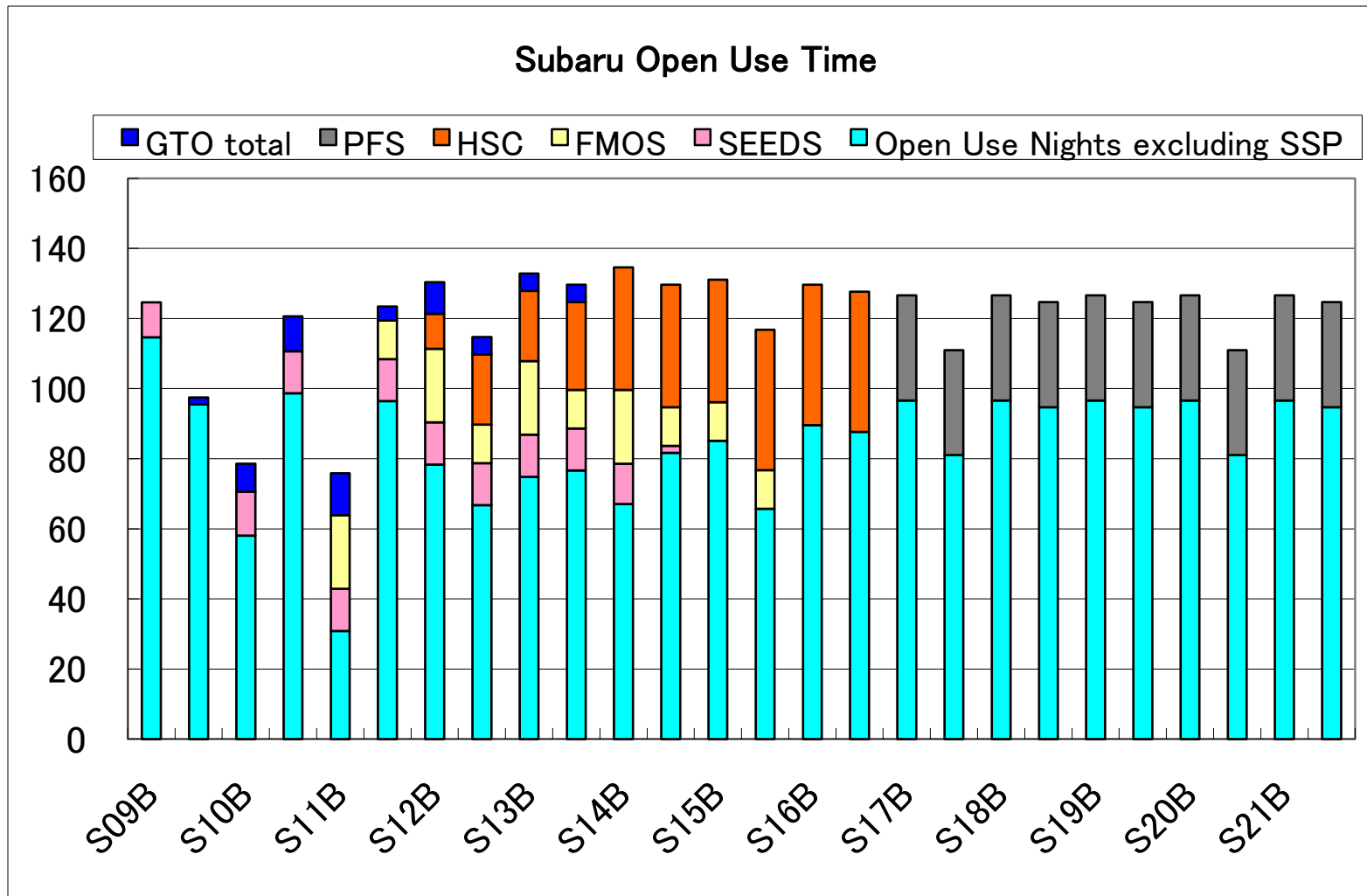
**NAOJ/GUAS (Sokendai)**

# 光赤外専門委員会への提言

## --2020年へのすばるの戦略 “天・地・人”-- すばる小委員会



# SSP SIMULATION FROM 2010 TO 2022



# すばる小委員会でのPFSについての議論 (2010年7月)

- PFSは我々の装置なので、外国勢は戦略枠だけに参加し、あとは我々が好きに使うことができる。
- 戦略枠は全員が参加するわけではないので、コミュニティとの関係はどうなるか？TACは現状でも一般公募時間が少ないことを危惧している。
- コミュニティの理解を得るために努力したい。HSCサーベイが終わったときにどうなっているかは誰もわからないが、5年後にこういう強力な装置がすばるにあるのはいいと思う。
- すばるコミュニティのサポートが得られなければ、進めることはできないが、いつまでに決める必要があるのか、タイムスケールを聞きたい。



- 次のUMで、WFMOSのときの合意くらいまで行けないか？
- 情報公開していくことが大事だ。WFMOS合意まで時間がかかりかかった。
- 日本はPFSの何を作るのか？
- 今のところなにも予定はないが、例えば検出器とデユアーくらい日本でやってはどうか。
- 装置のアセンブリは日本側がやらないとだめだろう。
- 日本の若手を海外に送りこんで働いてもらうことを考えている。
- 誰かが歯を食いしばって進めないと実現しない(皆の同意)。



- 国立天文台としてはどの程度サポートするのか？
- 国立天文台は人員や予算の手当てをする必要がある。
- 現在の人員のままでは無理だ。
- ポスドクだけでなく学生を育てられないか？
- 学生が働くためには装置制作のタイムスケールが長すぎる。
- まず研究者をきちんと配置してからでないと学生は出せない。
- 各パートナー国対応の日本人が各々についていないと難しい。
- 日本のプレゼンスが見えてこない。



- 日本側が全体のマネジメントをしっかりとやる必要があるが、人材があるか？
- JAXAのなかにはいるが、そういう人がやる気になってくれるとよい。



# FUTURE INSTRUMENT PLAN

- External, incidental money demands observatory resource, and force SAC and community to accept.
- Is this healthy?
- Where is community's initiative?





# HOW CAN WE IMPROVE PFS FOR SUBARU COMMUNITY'S OWN INTERESTS?

- Optical Spectrograph with Medium Resolution (Dark Energy)
- Optical Spectrograph with High Resolution (Galactic Archaeology)
- Near Infrared Spectrograph with Medium Resolution (Galaxy Populations @  $z \sim 2$ )

